



西院大特集

知らなかった西院が今、面白い！

京都の中心街から西に外れ、
その立地からこれまで

「ほな今日は、西院で呑もかあ〜」
とはならなかった。

とろろがどろろと、
一度この街にどっぷり浸かればもう、
ヤミツキとなる。

小規模な街ゆえ、生まれる店と
客の親密度や店同士の連帯感が
強いにも関わらず、
排他的な素振りを感じさせない。
というかどの店も

ウエルカムの風である。

烏丸の編集部から阪急に乗って、
いや、チャリをすっ飛ばしてでも
行きたい街、「西院」と書いて

「やいごと」と読むこの街が今、面白い。



西院な人に聞く、西院



佐藤元紀

西院ミュージックフェスティバル主催者
Bar OVERCROWD・夜カフェ&OOOS+gallery cat in on corner



小原増男

Music Cafe OOH-LA-LA・Cafe TUMBLING DICE オーナー



知らなかった

西院への扉

「西院」と聞いて想像したイメージは何か？ 場末の飲み屋街か、常連色の強いディープな街か、西院ミュージックフェスティバルか、はたまた学生街か。どれも正解、だと思っ。新旧湿然とした姿が今の西院である。そして知っているようで知らなかった西院が今、面白いのだ。

四条河原町



バーゲンシーズンということもあり、大混雑の四条河原町。そういえば高島屋に「三輪亭」入りましたね。

鴨川



祇園を抜け四条大橋を渡る。さすがに休日といえど、冬には鴨川名物・愛を語らうカップルはいなかった。

祇園縄手



真っ昼間からいかかわしい店のキャッチかと思いきや、おばんざい屋の呼び込みだった…。時代ですな。

八坂神社前



まずは東端、八坂神社前から。真冬の寒空の下、1人デジカメ片手に意気消沈気味に出発。ああ、寒い…。

緊急企画
四条通を歩いてみれば。
目的はなくても一度は制覇したい!? 四条通、端から端まで歩いてみました。

緊急企画



最初は風当たりも強かったけど、続けることで応援もしてもらえる。

「西院で何か面白いことできひんかなあ？」。きつかけは思いつきた。今や、西院一体を巻き込んだ街くみのイベント「西院ミュージックフェスティバル」の首謀者がこの佐藤さんである。今年の開催日も8月4日、5日とすでに決まり、会場も西院一帯20会場、100組以上のアーティストが参加予定だ。「1年目は認知度が低くてコ

ケて、2年目は大赤字。誰も続くとは思ってなかったでしょうね(笑)。しかし継続は力なりで、イベントへの賛同者も増え、今年6年目を迎える。「西院の店の人たちが商売抜きで強力してくれるんですよ。」西院でオモロイことやるならウチも！と。音楽を軸にひとつになる、これも西院の姿なのだ。

bar OVERGROUND

バー オーバグラウンド

同じ西院のバー「Salvage」から独立し、1年半前に上階のカフェと共にオープン。カウンターを占拠する男性率の高さは佐藤さんの人望の証。か。ビール500円〜、カクテル600円〜。ウイスキーも500円〜という西院スタイル。もちろんノーチャージ。

■京都市右京区西院坤町61 都興業ビル8F
☎075-313-5348
●19:00〜翌3:00/不定休
<http://www.eonet.ne.jp/~genkisal/>
西院ミュージックフェスティバル
<http://saifes.hp.infoseek.co.jp/>



夜カフェ&FOODS+gallery ca'm o'n

よるカフェ&フーズ+ギャラリー カムオン

CDや雑貨販売も兼ねて店を1人で切り盛りするべっぴんのカズエママが良い感じである。「パスタならなんでも美味しいでえ」とは常客の声。コーヒー400円〜、オリジナルトマトソースのパスタ各種700円〜。スペシャルコーヒーなんて裏メニューも。

■京都市右京区西院坤町都興業ビルF
☎075-313-5327
●16:30〜翌1:00 (L.O.24:30)/不定休



Music Café OOH-LA-LA

ミュージックカフェウーララ

00年オープンのライブハウス。「どうなんかなあ」と小原さんは謙遜するが、西院へ目を持ってやってくる人を呼び込むことで、街に役買っていることは明白だろう。ブックキングは「シーンをよく理解している若い子に任せたい方が良い」と積極的に若手を育成する。

■京都市右京区西大路錦築師東入北側 アシダビルF
☎075-311-3400
●18:30〜24:00/無休
<http://www.ooh-la-la.jp/>



西院を評して「これからの街やね」と小原さん。「これまで(京都の)西院で何かしようという若い子がおらへんかったけど、佐藤君みたいに新しい文化を作ろうという動きがでてきたんちゃうかなあ」と新しい文化を歓迎しつつ、「西院は場末のイメージが強いやろ? 値段も高かったらアカンやろし、安くて美味いモンを出す街であり続けること

文化は若い子が作るものやし、これからの西院が楽しみやね。

も大切やろね」とも。いずれ地下鉄東西線が延長されれば、西院駅裏だけでなく、西大路通にも新たな導線が生まれるだろう。「だからこれからの街なんやね。もって店ができたたら、通り過ぎただけだった学生の集まる場所になるかもしれへん。西院ミュージックフェスティバルもそうやけど、京都で一番熱い街やと思ってるよ。」

Cafe TUMBLING DICE

カフェタンブリングダイス

ライブ前のミュージシャンの交流の場でもあり、界限では少ない深夜の駆け込み処でもある。「シャキシャキ焼きそば」500円、「大人のオムレツ」400円、「コロッケ特製ソースがけ」400円など、安い美味しい西院スタイルはここにも。

■京都市右京区西大路通六角北東角
☎075-315-6219
●17:00〜翌4:00/無休



四条堀川



お馴染み250円弁当の「元気や」。数年前にオープンしたときは、価格破壊もここまでできたか!と驚かされた。

四条新町



四条通北側にある洋食屋の「亜樹」は隠れた名店。ランチ時は界限のサラリマンでこった返してますね。

四条新町



京都ではレアなナチュラルローソンが開店工事中だった。この号が出る頃にはもうオープンしているはず。

四条烏丸



旧UFJ銀行のビルは、商業施設に生まれ変わる計画があるそう。COCON烏丸に続いて烏丸が復興の予感?

四条高倉



すっかり四条通の顔となったルイ・ヴィトン。「ヴィトン前で待ち合わせ」が合い言葉になりつつある。

サイ@DEEP



西院の駅裏、年季入りまくり、場末臭は漂いまくりの飲食店街「折鶴会館」。ところが見た目の怪しさとは裏腹に、漏れ聞こえてくるのはご機嫌な笑い声。あまりにも気になってしかたがないので、突撃してみました。



カラオケ居酒屋 よりみち

カラオケいざかやよりみち

「若い人は、創作料理やら洒落たカフェなんかに行けるけど、街なかには年配の人がいける店がすくないでしょう？ だからウチみたいな店が必要なんですよ」とマスター。「カラオケ」1曲200円。「瓶ビール」450円。

■京都市右京区西院
高山寺町15 折鶴会館内
☎075-315-2832
●19:00~24:00/無休

夕暮れとともに西院の駅裏は動き出す。17時を過ぎたばかりにも関わらずの人通りの多さに驚かされる。京都駅前のリド飲食店街、四条富小路の四富会館、それに似た佇まいをみせるのがこの「折鶴会館」だ。場末という言葉象徴するようなひなびたまが、矢張り早に人が吸い込まれていく様子を惹かれて、暖簾を潜ってみる。「ガラが悪くて折鶴会館に入れない時代もあった



けど、リノホテルができたりにして、時代とともに治安は良くなってきたんですよ。今は若い客と年配の客がいい感じに交差している状態やね」と「よりみち」のマスターである遠山さん。実はこの折鶴会館、昭和34年に誕生して以来、西院の飲み屋街の中心として地元民にはお馴染みである。「ウチに関して言えば、ビール1本呑んで、1曲歌って、ちょこっとつまんで1000円く

印 西院本店

いん さいいんほんてん

国籍関係ナシでカウンターに立つ客みな友人、な西院の元気印。それだけに「毎度！」な挨拶はエンドレス。半強制的に「おでん盛り食べといて～」と差し出されても、「ほな頂きますわ～」となる。「ビール」350円。

■京都市右京区西院高山寺町15
折鶴会館内
☎075-321-7070
●16:00~翌1:00/無休

立ち呑み・ホルモン 藤

たちのみ・ホルモン ふじ

立ち呑みでホルモンは、たぶん京都初。実はオのご主人の奥さんが切り盛りしている。ご主人のホルモン好きが高じてオの隣に昨年オープン。ホソ・赤セン・ハチノス・ウルテなどホルモンはほとんど350円。上ミノでも500円

■京都市右京区西院高山寺町15
折鶴会館内
☎075-316-1544
●17:00~24:00/日休

立ち呑み・やきとり オ

たちのみ・やきとり さい

この会館へやってきて早6年。今では営業時間前から常客がいる風景も当たり前。串焼きはほとんどが100円前後。「ちくわのてんぷら」はご主人が胸を張って「値打ちあるで！」と言うだけにボリューム大で50円。

■京都市右京区西院高山寺町15
折鶴会館内
☎075-316-0708
●17:00~24:00/日休

らいで帰れる店でありたいんですよ。それが西院なんです」と遠山さん。「オ」のご主人も「ウチ来て得したと思ってもらえたらええんです。「こんなに安くていいの？」ってお客さんに心配されるくらいにね（笑）。それが嬉しいんですよ」と。安い美味いは当たり前、西院・折鶴会館。じっくり腰を据えても、ハシゴ酒に奔走してもいい、ご機嫌に酔える幸せがここにある。

西院の良心のカタマリがここに、折鶴会館は西院の中心である。

四条壬生川



「担担」で担担麵を食べることを密かに楽しみにしていたのだが、残念ながら当日は定休日だった…。

四条壬生川



またまた中華料理店を発見。大宮から数えと何軒の中華料理店があったんだろ…教えておきゃよかった。

四条千本



1年1組ということは、初心者が集う雀荘? 気になる。ガルーレを知らないで行くことはないだろう。

四条大宮



大宮を過ぎるとなぜか中華料理店の看板が目立つ。実は、この先にもすぐ中華料理店があるのです。

四条大宮



1時間近くかけてやっと四条大宮到着。懐かしの大宮東映劇場も今や使われず眠っている。まだ先は長い…。

KBS京都 × 京都CF
メディアMIX
コラボレート企画

上 誌
な谷
夜口
Taniyori's Night

KBS京都 毎週土曜日
夜11時30分 絶賛放映中

こんばんこや〜！暖冬と言われてもやっぱり寒いのがキライな谷口キヨコです！でもみんな、この時期はアツ〜くなるよね！なんたってバレンタイン！あっちもこっちもチョコだらけ、女の子ならテンションアゲアゲで行こう！ところで金太郎師匠、去年はここで催促した甲斐あって、おさかな型のチョコレートももらったみたいけど、今年もやっぱり催促するのかな？



谷口キヨコ



金太郎

谷口、催促したなんて失礼なこと言っちゃイヤ！ちょっとボロリと言っただけやんか。まあおれの人気がそれだけ高かったということかな。ということでそのキミ、恥ずかしがらずに勇気を出すんだ！おれはいつでも待ってるからね。ホワイトデーには金太郎の「金太郎飴」をプレゼントするからね。あっ谷口、「モノで釣った」なんて言うな〜！

テーマでセレクトな京都の情報番組
こんなん放送してます！

ピバ！たたみ

上京区にある老舗の畳屋、西邸畳物店ではちょっと変わった畳がいっぱいあります。サーフボード畳(水上では使用したことはないのだが)、畳のギター「ギタタミ」やすまのつクレレ「ふすれ」。ご主人が一般の方にもっと畳に親しんでもらおうと考案したのだとか、畳で何枚が出来る「料帳畳」やピアノ型の畳で、鍵盤を踏むと音で鳴る「ピアノ畳」など、色んな畳がもりだくさん。日本人のこころ豊〜豊のない家にお住いのアナタ、ここでその良さを発見してみてください。



酒蔵カンターピシ

今回取材でやってきたのは酒蔵、伏見にあるキンシ正栄株式会社酒蔵。団員が練習場所を困っていた時、知り合いだった酒蔵の社長が場所を提供してくれたのだそう。改築費用への入金は敷居が高いと思われがちだが、この伏見吹奏楽団では初心者大歓迎、だれでも気軽に出来るのだ。この酒蔵で練習を始めてからお酒の売上も上がったとか、いい音楽を聞いたお酒たちも、おいしくなるのかも？



京都発！マンガの博物館

鳥丸御池にオープンした「国際マンガミュージアム」。ここは日本初のマンガの博物館なのだ。20万以上のマンガ資料が所蔵されているほか、壁一面の棚に所蔵されたマンガは読み放題。雑誌の創刊号や「赤本」と呼ばれる昔のマンガ本、そして外国のマンガ作品などなかなかお目にかかれない資料が盛り沢山。子ども達の頃にハマったマンガを読んで、童心にかえってみては。



番組のHPへアクセスしてご意見、ご感想、応援メッセージなど、どんどんメールしてください！

パソコン <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyori/>
ケータイ <http://www.kbs-kyoto.co.jp/taniyori/mobile/>

西院の平和は、
ばくばく
が守る



現在、唐揚戦隊の隊員はピリ辛洋風「赤レンジャー」、タンドリー風「黄レンジャー」の二種類、各600円

ゴキゲンな居酒屋に強い味方、ヒーロー戦士が登場です。



主軸メニューより「和牛すじ煮込 温玉のせ赤すじ」600円、「大原大根のバリバリサラダ」650円、「鶴輪の梅酒」600円

居酒屋 ばくばく

いざかや ばくばく

品書きの中に珍ネーミングな一品を滑り込ませ、クスリと笑わせてくれることでも有名?な同店。それらは全て独立していった歴代の店長の名残でもある。背戸オーナー曰く「初代も2代目もかなり個性的やったしなあ(笑)」と。現在は大原の地野菜をはじめ、素材重視の逸品が主軸。とはいえ3代目となる福井店長のもと、新たに考案されたのは「唐揚戦隊」シリーズ。先代から受け継いだDNAが、西院の平和を守るのだ?

■京都市中京区西大路四条東入ル2筋目南側
☎075-311-0011
●17:00～翌1:00/月休

そして、ばくばくから独立した歴代店長。

二代目店長 木村さん



しじみ

地元・網野町の恵みを活かしたオカシ系居酒屋のオーナーに。ばくばく在籍時の代表作は「シャケナイベー(シャケ鍋)」。

■京都市中京区夷川通
河原町西入ル北側
真崎ビル1F
☎075-211-8306
●17:00～24:00
◆土土～翌2:00/日祝休

初代店長 田島さん



ツキトカゲ

御所なみにて、明治生まれの町家を改装したゆ〜い染ちん居酒屋のオーナーに。昨年は先斗町に「有恒」もオープン。ばくばく在籍時の代表作は「おすじとピーコ」。

■京都市中京区柳馬場通
丸太町下ル4丁目182
(地方裁判所西隣)
☎075-212-3550
●11:30～15:00
17:00～23:00 (L.O.22:00)
水休

四条西大路



西大路交差点にて現在商業ビルを建設中。これが西院の活気アップの追い風になるといいですね。

西院



四条通を横切る京福電車。改札口をスムーズに直で乗車するのが、ワンマン電車らしくていいですね。

四条御前



すこし寂れた建物の上の看板に釘付け!「京都発明研究会」ってなんだ? 訪ねてみるもあいにく不在の様子。

西院でラーメン、 の筆頭株。

密かなラーメン
激戦区にて、
京都ラーメン
王道の血筋。



ほそかわ 西院店

■京都市右京区西院乾町69番地
(西小路四条東入ル北側)
☎075-321-3040
◎10:00~20:00/水休

駅周辺には「天下一品」や「黒船」、少し西へ行けば「新福菜館」といったラーメン店もあり、西院は意外にも有名店を擁するエリアだった。いわゆるがな同店も、京都を代表するラーメン店である。花屋町本店に次いで、7年ほど前にこの西院店をオープン。ご主人は「まさに」からの独立だけに、その流れを汲む京都の王道のひとつ、背脂醤油系ラーメンだ。

京都人のソウラーメンといっても過言ではない「ラーメン(並)」600円は、鶏ガラスープにじっくり煮込んだこってりスープに背脂、細麵。看板を下げるのが早いのも、ご主人が「ますたに」で培った矜持ゆえか?

看板娘ならぬ、看板孫。

街場の英才教育の風景
常連客に混ざって孫は晩ご飯。



創業は戦後直後、という界限の老舗格。当時は物資不足にも関わらず、ヤミ市で仕入れた材料で一銭洋食を供す貴重な存在だったそう。ソーシ系の濃い味には濃いキャラの店主がもれなく、が定説だがここはお孫さんがかなりの濃いキャラである。大人に囲まれて育っているせいでしょねえ、口が達者で(笑)とご主人の阪井さん、やんちゃ盛りの子孫2人、タカシ君とヨシユキ君の猛攻は、常連客ならずともビールのええアテとなる。



「お好み焼」500円、「モダン焼 ミックス」1000円、「缶ビール大」400円。現在は茶着いた付まいを見せるが、昭和33年頃は向かいのパチンコ店、銭湯から流れる客で「目の回る忙しさ」だったそう。

お好み焼・焼きそば のぐち

■京都市右京区西大路通綾小路西入ル
☎075-311-3612
◎10:00~20:00頃/不定休

梅津段町 ブルースを 聞いたことが あるかい?



タイトルが梅津段町 恐らく世界初、です。

京都人でもないまいちピンとこない四条通の西側・梅津段町。今回の特集にあたり、梅津段町で思い出したのが、京都で20年のキャリアを誇る3ピースバンド「赤目」のナンバ「梅津段町ブルース」だった。競馬でスツーカーカンパスに乗る金もない。そんな切ない男の歌である。「いや、自分の事やないよ(笑)。バクチが好きでしょうがない友人の歌ですわ」と赤目のホセ長屋氏、とにかく後にも先にも、梅津段町を歌にするのは赤目だけだろう。ちなみに歌い出しは「♪京阪の七条から梅津段町まで歩いたことがあるかい?」うう、切なすぎる。

今でも月1回は京都で、府外でも精力的にライブ活動中。直近のライブは3月3日、陰陽にて、府外のFM局・TV局でこっそり流れていたりもする音源は、ライブ会場で手売りが基本だが「どうしても欲しい!」ならホームページへ

<http://homepage.mac.com/sorazou/>



梅津段町

四条天神川

四条天神川

四条葛野大路

四条西小路



さあ、このあたりから車道も4車線から2車線に。「梅津段町ブルース」を口ずさみながらテクテク歩き続ける。



京都人のソウラーメンのひとつ、新福菜館を発見。ご近所さんと思しきオパチャンが1人で来るのが、らしさというもの。



天神側を渡るとほとんど人通りがなくなる。三輪自動車などの工場が延々と続くのみ、少し心細くなる。



このあたりのランドマーク「デルタ自動車教習所」。し、しかしまだまだ先は遠い。ここまで来たらもう後戻りはできない。



西院のさらに西あたりは密かにいい感じのカフェやバーがオープンしている模様。写真はイタリアンジェラートの店。

激戦突破

DRAMATIC KYOTEI

第50回 GI 近畿地区選手権

2/12・13・14・15・16・17

主催/滋賀県 後援/近畿運輸局・関西スポーツ新聞5社

期間中イベント

〈1階中央多目的ホール特設ステージにて〉

- 2/12
- 選手紹介、ドリーム戦出場選手インタビュー 平成18年近畿地区優秀選手表彰(10:10~10:50)
 - 「中村有裕選手」トークステージ(第3R発売中)
 - 「くまきりあさ美・イジリー岡田」トーク&予想バトル(第7・10R発売中)

2/14

○「appeal」ライブステージ(第9R発売中)

くまきりあさ美、イジリー岡田、華織、ふりー岡田

2/15

○「華織」歌謡ショー(第7・10R発売中)

2/16

○「ダンシング谷村」ものまね爆笑ライブ(第7・10R発売中)

谷村、上海小籠包、ちやんぼらん、富好

- 2/17
- 優勝戦出場選手インタビュー(10:30~10:45)
 - 「上海小籠包」ステージライブ(第6・9R発売中)
 - 「ちやんぼらん富好」爆笑トーク(第7・10R発売中)
 - 優勝者表彰(第12R終了後)

ファンサービス

- 2/14 「appeal」によるバレンタインチョコプレゼント(先着500名様)
- 2/12・17 先着1,000名様に滋賀県産「環境こだわり米(秋の詩)」300gパック進呈
- 2/17 「開運舟券サービス」先着960名様に当日9レースの3連単舟券(100円分)進呈

〒520-0023 滋賀県大津市茶が崎1-1 びわこ競艇場 ☎077-522-1122

スイリとスリル **びわこ競艇**

無料バス発着場/JR大津駅・JR西大津駅

■テレホンサービス(レース結果・開催案内)/077-527-0999 ■電話投票競艇場コード11#

びわこ競艇ホームページ <http://www.biwako.gr.jp/>

多く知りたい競艇情報がいっぱい!

<http://www.kyotei.or.jp/>



西の果てにて、
振り返ってみれば…。

これからは、西院から西が熱い!?
京都のメインストリート、四条通。

と、ここまで四条通をスドンと八坂神社前から西へ西へと進んできた。その四条通の西端が松尾である。祇園・河原町・烏丸・大宮・西院と、街の表情を追いかけてみると、今さらではあるが同じ四条通でもずいぶんカラーが違うものだ。河原町、烏丸、五条…と京都は多くの大路を抱えているが、恐らく京都の基盤の目を東西南北に走るとの通りを追いかけても、四条通ほど多彩な表情を持つ通りはない、と思う。

祇園の四条通沿いは土産物店が多くを占めているとはいえず、どこか花街の雰囲気を残しているし、烏丸はオフィス街らしく、大宮・西院になつてくると地元密着型のディープな店が街を形成している。南北の通り変われば、街の表情も変わる。だからこそ四条通が京都の「メインストリート」だと言われる所以なのだろう。

今回の特集で最も街の体温が高かった西院は、OH・LA・LAの小原さんと言うように「これからの街」だと感じさせられたし、事実、西院から西のエリアにもポツポツと良い感じに店が集まりだしていた。点が集まり、点を繋げば面となり新しいエリアの誕生となる。そんな風に今後、西院から西が新たな動きを見せるかもしれない。街は、四条通は、さらに西で胎動し始めている。

松尾 松尾橋 梅津

八坂神社から約3時間。なんとか西端、松尾大社前へ到着「さあ皆さんも、ぜひ挑戦を、感動は…ありませぬ。

春になると花見やらバーベキューで一気に人口密度のある桂川の河川敷。今年もお世話になるでしょう。

ラーメン店「大輝」はこのあたりの名店。となりのお好み焼き店の店名が気になって西方撞ってみました。